

# ～医療ワンポイントコーナー～



## がんを診断する検査

現在行われているがん検査は複数ありますが、それらを組み合わせたり部位によって使い分けたりして診断確定していきます。代表的な検査。

### ◎生化学検査（他の血液検査に追加で出来る）

#### ●腫瘍マーカー検査

体のどこかに腫瘍ができるとがんの種類によって特徴的なタンパク質などが作られて血液や尿の中に現れ増えてくる。これを腫瘍マーカーといい、種類、場所、進行度を知る手掛かりになる。

#### 例) P S A検査

前立腺組織に特異的で前立腺がんを早期発見するために最も有用な検査

#### ●内分泌検査

甲状腺や膵臓などの内分泌臓器はホルモンを分泌するが、腫瘍などがあると内分泌腺の機能亢進（機能が高まった状態）が起こる。ホルモン分泌量が増加する。



### ◎画像診断 病変を目で見て診断する

#### ●C T検査

X線を360度全方向から照射することで人体を輪切りにした画像を撮影。体内の様子を立体的に把握することが可能。広い範囲の検査やMRIでは抽出が難しい肺や骨の検査に威力を発揮します。微量の被爆あるので妊娠中の人は受けられない。

#### ●MR I検査

磁場と電波を利用して体内の状態を撮影する検査法で、被爆の心配がない。繰り返し検査でき、妊婦の検査に適する。胃や腸などの動く部位の検査には向かない。磁気が当たるためペースメーカーなどの金属器具のある人は検査できない。

#### ●エコー検査

弱い超音波を体に当てて臓器や組織にぶつかってできる反射波を画像化することによって診断する。無害で痛みもない。乳房・甲状腺・腹部・骨盤部などで使われる。

#### ●内視鏡検査

先端に小型カメラまたはレンズを内蔵した太さ1cm程の管を口あるいは肛門より挿入し、食道・胃・十二指腸や大腸の内部を観察する。治療を行うことも可能。

#### ●マンモグラフィー（乳房X線検査）

乳房を2枚の板で挟み薄く伸ばして乳腺の重なりを減らして同じく白く映るガンや石灰化病変を発見診断する。

#### ●P E T検査

主にブドウ糖代謝の指標となる薬を用い細胞の働きを特殊なカメラで画像化診断する。全身を一度に調べることができる。病期診断や再発・転移診断等に有効。

\*年一回の健康診断で受けてみましょう。

（インターネット引用編集）